

## NEWS RELEASE

菓子(チョコレート)

2017年12月21日

15歳～74歳の男女2,000人の声からわかった、2018年のバレンタインデー動向

## バレンタイン予測 2018

チョコレートのトップブランド明治と商品ジャーナリストの北村森さんが予測する、2018年のバレンタインデーの6つの傾向

株式会社 明治(代表取締役社長:川村 和夫)は、商品ジャーナリストの北村森さん監修のもと、首都圏・中京圏・近畿圏の15歳～74歳の男女2,000人を対象に、バレンタインデーに関する意識と実態調査を行いました。その調査結果をもとに、北村さんに2018年バレンタインデーの傾向を大胆予測していただきました。調査結果の詳細は、別紙をご参考ください。

予測①

10代が最大の盛り上げ役  
秋のハロウィンを再び突き放す

予測②

バレンタインでも健康志向チョコが  
主役の座に？

予測③

「愛の告白」よりも  
「選ぶ」「作る」時間を重視

予測④

10代・20代のチョコ情報は  
マスも動画もSNSも積極活用

予測⑤

“脱・コスパ”志向で手作り  
チョコは見た目重視

予測⑥

バレンタイン景気はプラス予報  
総額で367円予算増

## 10代がリードするバレンタインは、これからも長く続くビッグコンテンツ

今回の調査から見てくるのは、バレンタインに対する10代の熱量の高さです。何十年も続いているバレンタインイベントに対し、10代が積極的に関わり、リードしている。今年の流行語に「インスタ映え」が選ばれましたが、だからこそ、SNSや動画、脱・コスパなどの新しい動きにも対応できているし、今の時代にマッチしたバレンタインとして成立しているのだと思います。一時はハロウィンに抜かれ衰退するかと思われたバレンタインですが、そんなことは決してなく、バレンタイン市場は、今後の可能性を大いに秘めた勢いのあるイベントであり、マーケットであることが確信できる結果となっています。

北村 森 (きたむら・もり) さん

商品ジャーナリスト。38歳で「日経トレンド」編集長に大抜擢され、流行情報誌ジャンルのトップを走り、黄金時代を築く。

商品ジャーナリストへ転身後も、売れる商品への嗅覚と目利き力を生かし、商品の評価・分析、トレンド予測、地域おこしに関する提案を行う。



【この件に関するお問い合わせ先】 株式会社 明治 広報部

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-4-16 TEL:03-3273-0700 FAX:03-3273-0900

メールアドレス:meiji.kouhou@meiji.com

※製品写真をご希望の際は、お手数ですが上記宛先にご連絡ください。

【紙面掲載用のお問い合わせ先】 明治 お客様相談センター TEL:0120-041-082